

庁議の概要

開催日 令和5年11月27日（月）

◎項 目

1 知事訓示

（濱田知事）

この度の知事選挙で2期目の信託を県民の皆さんからいただいた。2期目が実質スタートするにあたり、部局長にお願いしたい点について伝達する。

一つは、「共感」と「前進」という基本姿勢のもとで、新たな時代のデジタル化、グリーン化、グローバル化といった潮流を先取りして、施策を一層強化、進化させることに挑戦したい。「共感」と「前進」の基本姿勢に関しては、従来から5つのキーワードを申し上げてきた。県民の皆さんから共感いただける、そして県民の皆さんに寄り添い共に歩んでいけるという県政のためには、まず透明性がなければならない。そして想像力を働かせて県民の皆さんの気持ちに寄り添って先手を打って施策を展開していくことが必要。そして前進していくためには、そもそも自分の仕事は何のためにやっているのか、どう県民の皆さんに役に立っているのか、というところを再確認する。使命を自覚してこれを座標軸として前進を図っていく。そのためには、進化していくことを目指して挑戦していかなければならない。この点を改めて各部局長は職員と共有し、どう県政が進化していけるか、あるいは県の経済社会が進化していけるか、ということに関してよく考え、提案し、それを施策、事業に盛り込んでいくこと。

もう一つ、政策課題として最大でかつ私が県庁の持てるあらゆる手段を動員して挑戦したいのが、県政における最重要課題、人口減少への対応である。「いきいきと仕事ができる高知」、「いきいきと生活ができる高知」、「安全・安心な高知」という3つの将来像を実現していくという流れで県政を体系化したいと考えている。最終的には若年人口の減少に歯止めをかけるというところを一番大きな目標として施策を展開したい。この目的のために、各部局の担当事務の中でどういった貢献ができるのかというところを考えて、事業を展開すること。また、一人あたりの県民所得を概ね10年後までに全国中位の水準まで引き上げることを目標としている。若い人にとって魅力がある、稼げるような仕事を増やしていくことが若年人口回復の肝になる。この目標を達成するために、県としてどういうことができるのかをよく考えること。

これらに向けて県庁の力を結集して結果を出して行かなければならない。各部局長の協力をお願いする。